

平成25年4月25日

****市教育委員会 教育長

***** 殿

学校プール掃除に対する配慮を求める要望書

福島第一原発事故以降、東日本各地のプール汚泥から高濃度の放射性物質が検出されていることがメディアでも取り上げられてきましたが、かなり広い範囲で高い濃度で放射能汚染が存在していることが一般市民の間でも周知の事実となっています。一昨年、川崎市のプールにおいては同市が土などを採取して測定したところ、1キログラム当たり1万2400ベクレルの放射性セシウムが検出されたためプールの利用を一時中止する措置をとった事例は記憶に新しいでしょう。

こうした状況を踏まえ、昨年は一般市民により結城市内の小学校のプール汚泥の放射能測定が実施されました。原発事故後しばらくの間降り注いだ汚染度の高い放射性降下物はすでに前年の掃除で除去された状況であり、また、茨城県内では放射能汚染度が低いとされている地域ではありましたが、プール汚泥はかなり高い濃度の放射能に汚染されている状況が確認されました。

これまでプール掃除に際しては生徒・児童が手伝う事がひとつの年中行事になっていた学校が少なからずあったと思いますが、原発事故を経て多くの学校では中止されていることと思います。しかしながら例年通り生徒・児童がプール掃除をする学校も存在しています。

生徒・児童を放射能汚染度の高い汚泥等に直接さらすことは、無用な被曝を避ける放射能防御の基本的観点からは望ましい事ではありません。

以上の点を踏まえて、学校関係者の皆様には以下について要望いたします。

1. プール及びプールサイドの掃除は生徒・児童にはさせない。
2. プール及びプールサイドの掃除の際には汚水、汚泥、ゴミその他が飛散しないように配慮する。特にゴミ、泥が堆積している可能性のある側溝・排水口を高圧洗浄機で洗浄することは避ける。
3. プールサイドの高さレベルは児童の目線レベルにあることに配慮し、プール開きの前だけでなくオフシーズンにも側溝・排水口に堆積する泥やゴミは定期的に撤去する。
4. 調査を継続して、汚染の状況・推移を把握して後年における汚染状況を推測し必要に応じて対策を講じる。

以上

参考までに昨年実施した調査概要を以下に示します。

調査概要

(検体の採取)

検体採取年月：平成24年7月

検体採取施設：絹川小学校プール

検体採取位置：プールサイド外周側溝の堆積物、プール横排水溝の堆積物
プール内の沈殿物から各1検体で合計3検体

(測定結果)

測定機関：つくば市民放射能測定所

測定機器：ATOMTEX社（ベラルーシ）製 AT1320A

測定結果：プールサイド外周側溝の堆積物	6070ベクレル/kg
プール横排水口の堆積物	391ベクレル/kg
プール内沈殿物	137ベクレル/kg

絹川小学校敷地における放射能汚染の度合いは、結城市公表データによると以下のとおりである。

計測日：平成23年7月13日

土壌検査結果：Cs (134+137) 130ベクレル/kg

空間放射線量：0.108マイクロシーベルト/h

(※現在の空間放射線量の値は概ね上記と同様で0.100マイクロシーベルト/h前後。)

プール側溝および排水口の汚染度は周辺土壌よりもかなり高いものであることが確認された。特にプール外周側溝の堆積物は周辺土壌の45倍以上の汚染度であった。一般的に放射能が高いことが認識されている側溝や雨樋まわりと同様な経緯、風雨による堆積と移動で放射性物質が濃縮したと考えられる。今回の調査ではプールサイド外周側溝の堆積物で6070ベクレル/kgを確認したが、採取した検体はプールサイドで掃除が開始されている中での、水道水に浸されている状況の汚泥であり含水率がかなり高いものであった。

一方、プール内では周辺の土壌及び気象の状況からかなりの泥が堆積していることが予想されたが実際はコケ若しくはアオコの類が主な堆積物であった。

各方面でコケ類に放射性物質が濃縮される事例が確認されていたことからプール内沈殿物の放射能濃度に注目していたが、3検体のうち一番低い値で周辺土壌並

の汚染であった。ただし液体に近い状態での濃度であることを考えると決して低い濃度であると看過できるものではない。

以上

(参考資料)

サンプリング実施場所

上空図



学校敷地全景(左にあるのがプール)



プール全景



サンプリング状況

プールサイド外周の側溝堆積物。枯葉と泥の混合物状でビチャビチャな感じ。



プール横排水溝。枯葉と砂の混合物状。ベチャベチャな感じ。



プール内沈殿物。非常にキメ細かいアオコ状



プールサイドの空間線量。0.15 μ sv/h前後 (SOECS-01M)。



検体に直付けで計測。プール横排水溝の堆積物とプール沈殿物のアオコは有意な値の上昇は確認できなかった。しかし、プール外周側溝の堆積物は、0.50 μ sv/h前後まで上昇。



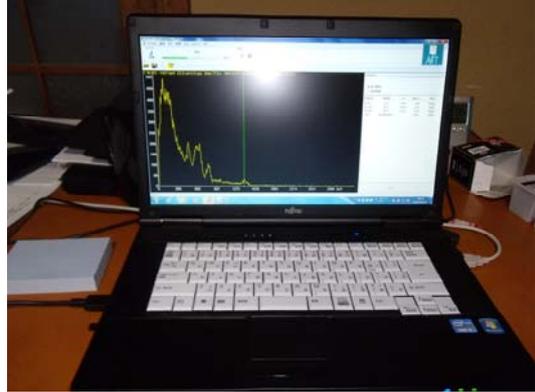
測定用容器への検体充填状況



測定器外観



測定状況



以上